

平成24年度第3回指定管理者選定評価委員会会議概要

- 1 対象施設 港湾文化交流施設
- 2 開催日時 平成24年10月23日(火) 10:00~12:00
- 3 開催場所 青森市役所第3庁舎1階会議室
- 4 出席者
 - (1) 選定評価委員 委員長 工藤 清泰(市長公室理事)
委員 増田 一(企画財政部次長)
委員 小笠原 龍朗(環境部次長)
委員 木村 敏幸(都市整備部次長)
委員 岩船 彰(青森中央学院大学教授)
委員 鈴木 彰夫(東北税理士会青森支部税理士)

- (2) 施設所管課(事務局) 交通政策課 課長 八戸 認
副参事 佐々木 浩文
主幹 伊瀬谷 勝
主査 葵 卓
主事 山田 聡

- (3) 制度所管課 市民政策課 参事 相馬 紳一郎
主幹 福島 清裕

- 5 欠席者 鈴木 裕司 委員(総務部部次長)
- 6 議題 指定管理者候補者選定に係る審査
- 7 会議概要

最初に委員長より、公正・公平性の確保のために、施設所管課の担当次長は採点の審議には参加せず、事務局として参加していただく旨の意見が出され、委員から異議無く了承された。(木村委員は事務局として参加)

(1) 応募資格

事務局より、各応募団体が応募資格の要件を満たしていることを確認し、その内容を報告した。

(質疑なし)

(2) 選定基準による審査(質疑は主な内容)

【管理運営方針】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。

委員：ターミナルビルの空室解消については、どのような提案がされているのか

事務局：事務室を1室入居させる内容となっている

【同種の施設管理業務の実績】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。

委員：提案の中に、新たな取り組みはあるのか

事務局：新たな取り組みはないが、中心商店街と摩周丸（函館市）との連携について強化する内容であると聞いている

委員：たくさんの項目が提案されているが、本当に実行できるのか心配である

事務局：提案内容については、現在、八甲田丸ですべてが実施していることを確認している

委員：各種助成金は収支計画に記載されていないのはなぜか

事務局：八甲田丸単独ではなく、他の施設と連携して助成金を受けているため記載していない

【地元雇用への配慮】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。
（質疑なし）

【職員等の配置計画】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。

委員：船舶・観光施設経験について、公的な証明や資格などがあるのか

事務局：公的な証明や資格はなく、そのような仕事に従事していた経験を持つ、というものである

【職員等の研修計画】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。

委員：マルチスタッフと提案されている割には、受付・物販担当が他の業務を行う計画になっていないが

事務局：業務経験年数が少ないスタッフについては、まずは受付・物販業務を習得し、その後他の業務も行う計画であると聞いている

委員：八甲田丸の利用者が体調を崩して、その対応を行ったケースはあるのか

事務局：職員が心肺蘇生を行ったまでのケースはないが、体調を崩した利用者のために救急車を呼ぶことは毎年ある

委員：研修の回数が「随時」となっているものの具体的な回数はあるか

事務局：具体的な回数はないが、必要に応じて行う計画となっている

【施設管理計画】

委員：船舶検査の受検はどのようなサイクルで行うのか

事務局：年1回行っている

委員：再委託の業務はどのような業務か

事務局：エレベーターの保守点検など、専門的な知識を必要とする業務である

【防犯、防災、緊急時の対応に関する取組】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。

委員：「八甲田丸」という施設に対し、保険は加入しているか

事務局：市の施設は一括して保険に加入している

委員：夜間はどのように安全管理を行っているのか

事務局：機械警備で対策を行っている

【環境保全、不可低減への取組】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。

委員：LED照明ランプへの交換は具体的計画が提示されているか

事務局：具体的計画はないが、光熱費の削減につながるので、順次取り組むと聞いている

委員：飲食店テナントの生ゴミ削減について、コンポスト化などが考えられるが、具体的な話はあるか

事務局：現在の業者と話し合いながら取り組んでいくと聞いている

【市民の平等な利用を確保するための方針】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。

委員：八甲田丸は船であるため、障害者や高齢者には見学しづらいと思うが、ユニバーサルサービスの提供とはどのようなことを行うのか

事務局：職員が利用者を外に迎えに行ったり、エレベーターを活用するなど工夫したサービスを現在は行っている

【利用者等の要望の把握と反映方法】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。

委員：実際にはどのような要望や苦情が寄せられているか

事務局：職員の対応や接遇に関する苦情は寄せられていないが、連絡船ファンの方から、展示や解説内容に関する指摘や要望をいただき、可能なものは対応している

委員：提案されている要望等の情報公開については、具体的にどのように取り組

むのか

事務局：こちらは新たな取り組みとして、その具体的内容は今後検討すると聞いている

【サービス向上の対策】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。
(質疑なし)

【来館者を増加させるためのPRおよびイベントの実施計画又は自主事業】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。

委員：青函ワールドの設置により、利用者はどれくらい伸びているのか

事務局：オープンから9月末までで、有料観覧者数は前年比で約7,000人増加している

委員：修学旅行の受け入れ実績はどのようになっているのか。

事務局：修学旅行を含めて、学校や保育所・幼稚園などに年間30件以上にご利用いただいている

【業務用施設(ターミナルビル)利用促進への取り組み】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。

委員：提案されている新聞の折込広告によるテナント募集については、費用対効果を考えるとあまり有効でないのでは

委員：現在の入居者の光熱費はどのような取扱いになっているか

事務局：各入居者が支払っている

(3) 審査結果

委員長：採点を集計した結果、特定非営利活動法人あおりみなとクラブは108.06点でありました。

最低得点75点を上回っているため、特定非営利活動法人あおりみなとクラブを指定管理者候補者として選定してよろしいか。

委員：(全員、異議なし)

委員長：それでは、特定非営利活動法人あおりみなとクラブを港湾文化交流施設の指定管理者候補者として選定する。